

人物図鑑4制作に向けて！

人物図鑑を通して、外部講師の授業



もうひとつ 大切なこと

インタビューする側の人が
自分開示をすること
↑
そのために自己理解が必要



NATAKA
no.25

那須高校タイム

インタビュー講座

今年度も『那須まち人物図鑑4』の制作に向けて準備を進めております。今号は1年生が制作を担うことになり、総合的な探究の時間の授業を利用し、2回に分けて外部講師を招き、効果的なインタビュー方法を学びました。

今回来ていただいたのは、人物図鑑2で講師を務めたヨガイ・ストラクター、インフルエンサー、ライターなどさまざまお仕事をされている「こんどうあゆ」さんです。

こんどうさんからは、インタビューで大切な「相手に興味を持つこと」「読み手に伝えること」「インタビューになりきる

こと」を学びました。さらにインタビューする側の自分開示をすること、そのためにはまずは自己理解が必要であるという高校生でもわかる極意を伝授してくださいました。ワークシートに自分の好きなことや食べ物、性格、趣味や得意なことなどを書き出しながら自己理解を深め、それらを隣の席の人とペアになりながらどんなことを書いたか紹介し合いました。続いて、ペアでお互い聞いてほしいことを深掘りするために、5 W 1 H の手法に則って質問し合いながら、メモを取っていくことの大切さを学びました。授業終わりにはこんどうさんにインタビューをしてみる時間もあり、生徒にとっても、充実した時間となりました。

実社会で活躍する方から学びを受ける時間というのは、将来の職業選択や社会に出てからの自信にも繋がっていくものだと思います。人物図鑑を通して繋がった地域の方を外部講師に迎え授業ができたということも他の学校にはない那須高校の魅力の一つとなったのではないのでしょうか。今後もこのような取り組みができたらと思っています。

(コーディネーター 佐藤達夫)



地域と繋がる高校

今年度から那須高校に赴任されました、近藤雅仁校長先生に那須高校についてインタビューをさせていただきました。

Q 赴任後の高校の印象は？

赴任して4カ月経ちますが、先生方が生徒一人一人に対して丁寧な指導をしている姿は素晴らしいですし、那須町が高校を支援してくださり、コーディネーターの方もいらつやって驚きました。これまでのコーディネーターの方々が地域との繋がりを作ってきたことがしっかりと先生方に伝わっていると実感しています。

Q 今後の那須高校のビジョンはなんですか？

学校の一番の役割は、生徒の成長を考えることです。那須高校では町との繋がりの中で、生徒たちの成長を後押しし、高校も町も栄えていくことが理想だと思います。そして「生徒たちが希望を持つことができる学校」になっていく。生徒にとって、学校が楽しくて、安心な居場所になることが大切です。

さらに、学校で生徒たちが自信を持つことができる経験もつくっていくことで、生徒の自己肯定感・自己有用感を持つきっかけが必要だと感じています。

Q 最後に、那須町のみなさんに一言。

学校と町が共存しながら、歩んでいきたいと思っています。学校と地域との繋がりを大切に、心が通う関係を築いていきたいです。

(コーディネーター 川瀬史恵)

栃木県立那須高等学校

那須町大字寺子乙3932-48 TEL / 0287(72)0075

tochigi-edu.ed.jp/nasu

「那須高校タイム」は生徒会の生徒と高校魅力化コーディネーターが共に作るページです